

ハイリスク地対策【和歌山県】

(実施主体) 和歌山県、白浜町、警察

(基金事業メニュー) 強化モデル事業

(実施期間) 平成 21 年度～

(実績額) 平成 23 年度 5,087 千円

【事業の背景・必要性・目的】

和歌山県の自殺者数は平成 21 年に自殺対策基金で自殺対策事業が開始されて以降減少傾向にあるが、依然自殺死亡率は全国平均を上回る。

和歌山県には観光名所のなかに自殺の多発地である三段壁があり、自殺を思い悩んで訪れる人が後を絶たない。

三段壁での平成 20 年の自殺者が 21 人と前年（9 人）から急増したことから、行政と民間団体が連携して対策を講ずることとなった。

【事業の内容】

- ・ 自殺対策会議の設置
県、白浜町、警察、消防、民間団体を構成員とし対策を協議
- ・ 三段壁パトロール
週 5 回
- ・ 三段壁に看板、防犯灯の設置
注意喚起のため看板、夜間の安全確保のため照明設備を設置
- ・ 一時保護施設
保護した自殺未遂者に滞在場所を提供

【事業実施に当たっての運営体制等】

自殺対策会議は白浜町が事務局となり運営、三段壁での自殺対策を協議。

三段壁パトロールは、県、町、警察、NPO が共同で水、木の夕方 1 時間、月、火、金の夕方 2 時間に白浜町が NPO に委託し、週 5 回実施。タクシー、バス利用者のハイリスク地降車の挙動不審者があれば運転手から警察へ通報する体制も構築。

一時保護施設は、NPO が運営し、保護した自殺未遂者を対象に滞在場所を提供。

【事業の成果、工夫した点、その他特筆すべき点】

- ・ 自殺者数の減少
過去 5 年のピークは平成 20 年の 21 人であったが、平成 21 年度からの基金事業実施後、減少に転じ、平成 23 年は最小数となっている。
- ・ 自殺未遂者の自立
一時保護施設は地元 NPO が運営しており、地域自殺対策緊急強化基金を活用して購入した建物と白浜町から借り受けているアパートを滞在場所として提供。生活物資も支給し、共同生活によ

り自立を促す生活支援活動を行っている。対象者は年間約 90 名。

※三段壁自殺者

		19	20	21	22	23
人 数		9	21	10	9	8
前 年 比		81.2%	233.3%	47.6%	90.0%	88.9%
H20 年 比	三段壁	—	—	47.6%	42.9%	38.1%
	全 国	—	—	101.8%	98.3%	94.8%
	県	—	—	90.4%	78.8%	75.5%

(問合せ先) 和歌山県福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課
 TEL : 073-441-2641
 E-mail : e0404001@pref.wakayama.lg.jp